

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-272955

(43) 公開日 平成11年(1999)10月8日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I	
G 0 7 F 17/26		G 0 7 F 17/26	
B 4 1 J 29/38		B 4 1 J 29/38	Z
G 0 6 F 3/00	6 5 4	G 0 6 F 3/00	6 5 4 A
17/21		15/20	5 6 6 G

審査請求 有 請求項の数 8 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-92568

(22) 出願日 平成10年(1998)3月19日

(71) 出願人 595126657

株式会社大日堂

名古屋市中村区塩池町2丁目8番7号

(72) 発明者 浅山 和好

愛知県海部郡弥富町大字前ヶ須新田字南本
田412番地14

(74) 代理人 弁理士 長屋 文雄 (外1名)

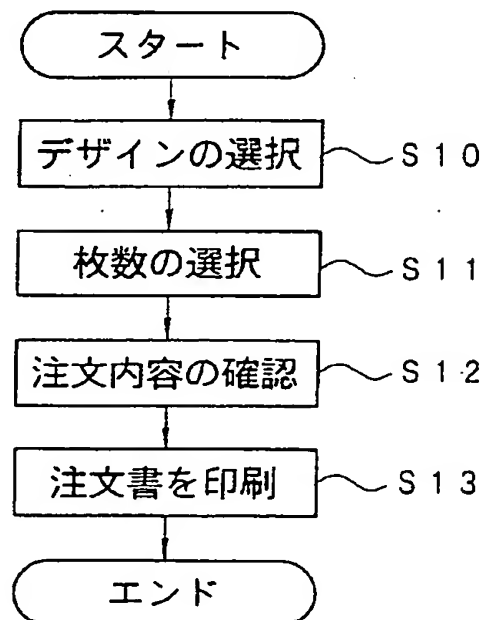
(54) 【発明の名称】 注文内容出力装置

(57) 【要約】

【課題】 商品の内容を説明するための人員を用意する必要なく、適切に購入者が商品を注文することができる装置を提供する。

【解決手段】 タッチパネル付きLCDには、選択すべき候補が表示されるので、それらから所望のものを選択することにより注文内容を特定していく。例えば、商品が名刺の場合には、該名刺のパターン (S10)、枚数 (S11) 等に応じて候補が表示されるので、所望のものを選択する。所定の選択が完了したら、注文内容を記載した注文書をプリントする (S13)。

「名刺」選択時



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 販売対象物の注文内容を出力する注文内容出力装置であって、

予め用意された複数の選択対象であって、複数の候補からなる選択対象を格納する記憶手段と、

該記憶手段に記憶された選択対象を順次出力する選択対象出力手段と、

出力された選択対象のうち所定の候補を選択するための操作手段と、

上記操作手段による選択内容に従い、所定の注文内容を出力する注文内容出力手段と、を有することを特徴とする注文内容出力装置。

【請求項2】 上記注文内容出力手段が、上記選択内容を表示した注文書をプリントするプリント装置であることを特徴とする請求項1に記載の注文内容出力装置。

【請求項3】 上記選択対象出力手段が、選択対象を出力する際に、上記販売対象物の内容を説明するための情報を出力することを特徴とする請求項1又は2に記載の注文内容出力装置。

【請求項4】 上記販売対象物が、文字、記号、図形の少なくともいずれかの表示内容を構成要素に含む商品であることを特徴とする請求項1又は2又は3に記載の注文内容出力装置。

【請求項5】 上記販売対象物が、少なくとも印鑑、名刺、表札、スタンプ、印刷済紙部材、シールのいずれかであることを特徴とする請求項4に記載の注文内容出力装置。

【請求項6】 上記複数の選択対象において、少なくとも1つの選択対象が、販売対象物の表示内容のパターンに基づき設けられ、他の少なくとも1つの選択対象が、価格に基づき設けられていることを特徴とする請求項1又は2又は3又は4又は5に記載の注文内容出力装置。

【請求項7】 上記複数の選択対象において、他の少なくとも1つの選択対象が、販売対象物の用途又は種類に基づき設けられていることを特徴とする請求項6に記載の注文内容出力装置。

【請求項8】 上記出力手段と操作手段とがデジタイザと一体となった表示装置であることを特徴とする請求項1又は2又は3又は4又は5又は6又は7に記載の注文内容出力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、注文書を発行する装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から商品を買う場合もしくは商品を注文して買う場合においては、直接店頭で店員の説明を聞きながら所望の商品を選んで買うケースが一般的である。特に、購入者にとってあまりなじみのない商品を買うおうとする場合には、店員から商品の内容についてアド

バイスを受けるのが効果的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記の場合には、一々店員のアドバイスを受けなければならず、そのためにアドバイスをする人員を用意する必要がある。そこで、本発明は、商品の内容を説明するための人員を用意する必要なく、適切に購入者が商品を注文することができる装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は上記問題点を解決するために創作されたものであって、第1には、販売対象物の注文内容を出力する注文内容出力装置であって、予め用意された複数の選択対象であって、複数の候補からなる選択対象を格納する記憶手段と、該記憶手段に記憶された選択対象を順次出力する選択対象出力手段と、出力された選択対象のうち所定の候補を選択するための操作手段と、上記操作手段による選択内容に従い、所定の注文内容を出力する注文内容出力手段と、を有することを特徴とする。この第1の構成の注文内容出力装置においては、選択対象出力手段が該記憶手段に記憶された選択対象を順次出力するので、操作者は、上記操作手段により出力された選択対象のうち所定の候補を選択する。そして、注文内容出力手段は、上記操作手段による選択内容に従い、所定の注文内容を出力する。よって、注文者（操作者）は、各選択対象につき所定の候補を選択していくことにより注文内容を出力することができる。

【0005】また、第2には、上記第1の構成において、上記注文内容出力手段が、上記選択内容を表示した注文書をプリントするプリント装置であることを特徴とする。よって、注文内容を表示した注文書の形で出力することができ、この注文書を所定の注文先に送るようによればよい。また、第3には、上記第1又は第2の構成において、上記選択対象出力手段が、選択対象を出力する際に、上記販売対象物の内容を説明するための情報を出力することを特徴とする。よって、販売対象物の内容を説明するための者がいなくても、注文者はその内容を知ることができる。

【0006】また、第4には、上記第1から第3までのいずれかの構成において、上記販売対象物が、文字、記号、図形の少なくともいずれかの表示内容を構成要素に含む商品であることを特徴とする。また、第5には、上記第4の構成において、上記販売対象物が、少なくとも印鑑、名刺、表札、スタンプ、印刷済紙部材、シールのいずれかであることを特徴とする。

【0007】また、第6には、上記第1から第5までのいずれかの構成において、上記複数の選択対象において、少なくとも1つの選択対象が、販売対象物の表示内容のパターンに基づき設けられ、他の少なくとも1つの選択対象が、価格に基づき設けられていることを特徴と

(3)

する。また、第7には、上記第6の構成において、上記複数の選択対象において、他の少なくとも1つの選択対象が、販売対象物の用途又は種類に基づき設けられていることを特徴とする。また、第8には、上記第1から第7までのいずれかの構成において、上記出力手段と操作手段とがデジタイザと一体となった表示装置であることを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態としての実施例を図面を利用して説明する。本発明に基づく注文書発行装置Aは、図1に示されるように、その外觀においては、装置本体10にタッチパネル付きLCD20が設けられている。上記注文書発行装置Aの構成をさらに詳しく説明すると、図2に示すように構成され、タッチパネル付きLCD20と、メモリ30と、プリンタ40と、CPU50とを有している。

【0009】ここで、上記タッチパネル付きLCD20は、タッチパネル22とLCD24とを一体にしたものである。上記タッチパネル22は、操作手段として機能し、一方、LCD20は、選択対象出力手段として機能する。また、上記記憶手段としての上記メモリ30は、動作制御プログラム格納部32と、写真データ格納部34とを有している。この動作制御プログラム格納部32は、注文書発行装置Aを動作させるためのプログラムを格納するものであり、後述するような動作をするためのプログラムが格納されている。また、写真データ格納部34は、商品の写真データをLCD24に表示するための写真データを格納する。また、上記プリンタ40は、所定の注文書を印刷するために使用される。なお、この印刷用のデータはCPU50側から送られる。このプリンタ40は、上記注文内容出力手段及びプリント装置として機能する。

【0010】上記構成の注文書発行装置Aの動作について説明する。まず、初期状態においては、図4に示すようなメニュー画面が表示される。つまり、電源が投入されると図4に示すメニュー画面のデータが動作制御プログラム格納部32から読み出され、LCD24に表示させる。このメニュー画面には、注文を行うことができる各商品名が表示されている。この図4の画面に表示される上記販売対象物としての商品は、印鑑、名刺等であり、文字、記号、図形の少なくともいずれかの表示内容を構成要素に含むものである。

【0011】以下、各商品について一般的な動作について説明すると、操作者（購入者）は、このメニュー画面を見て、購入しようとする商品を選択する。操作者が購入したい商品を選択すると、その選択された商品に応じて各種選択画面が表示される。つまり、その商品における種類、パターン、サイズ等の各種属性において選択を行うための画面が表示される。この商品の種類、パターン、サイズ等は、上記選択対象に当たる。操作者は、こ

れらの選択画面において所望の選択を行いながら、操作を進めていく。なお、商品の種類等においては、各商品の種類、用途等を説明するための説明も該選択画面と一緒に表示されるようにするので、操作者にとっては選択が容易である。

【0012】そして、操作者が一通り選択を完了すると、選択結果を確認するための画面が表示され、その内容でよいか否かを操作者に確認する。そして、その内容を確認して操作者が承諾する旨の操作を行うと、注文内容が印刷された注文書がプリントされる。なお、上記注文書発行装置Aにおいては、タッチパネル付きLCD20が設けられているので、各選択画面における選択操作においては、該選択画面に表示されるアイコンをそのまま押す操作をすればよい。

【0013】次に、さらに、詳しい動作について「名刺」の場合を例に取って説明すると、名刺についての各選択内容を選択していくが、概略的には、図3に示すようなフローチャートに従い操作を行っていく。つまり、まず、デザインの選択を行い（S10）、その後、枚数の選択を行う（S11）。そして、注文内容を一括して表示するとともに料金の情報を表示し、操作者に確認させ、操作者が注文内容を了解する旨の操作を行った場合には（S12）、注文書を印刷する（S13）。

【0014】具体的に、表示画面を例に取って説明すると、まず、図4に示すメニュー画面において、「名刺」の部分のアイコンを押圧操作して「名刺」を選択したものとする。すると、図5に示す画面が表示される。この図5において、「サンプル画面」のアイコンを押圧すると、図6に示す画面が表示される。この図6に示す画面は、名刺の各種パターンを表示するものである。この各種パターンは、メモリ390の写真データ格納部34に格納された写真データを読み出して表示する。この図5に示される各種パターンが上記選択対象に相当し、各パターンは選択対象を構成する候補に相当する。また、上記各種パターンは、上記「販売対象物の表示内容のパターン」に相当する。上記一方、この図5に示す画面では、「メニューに戻る」を押すことにより図4に示すメニュー画面に戻ることもでき、さらに、「価格表」を押すことにより価格表を表示する画面に移行することもできる。

【0015】そして、図6の画面において、操作者は、表示された複数のパターンの中から所望のパターンを選択する。つまり、タッチパネル22において所望のパターンが表示された部分を押圧する。この操作が図3におけるデザインの選択に当たる。なお、この図6に示す画面においては、「価格表」のアイコンを押圧して選択すると、上記と同様に、価格表を表示する画面に移行することもできる。また、「前ページ」を選択すると、図5に示す画面に戻る。さらに、「メニューに戻る」を押すことにより図4に示すメニュー画面に戻ることもでき

(4)

る。

【0016】次に、図6の画面において、所望のパターンを選択して、「次ページ」を選択すると、図7に示す画面が表示される。この画面は価格表を表示するとともに、枚数を選択するための画面である。この画面には、前の画面で選択したパターンも表示される。操作者は、所望の枚数を表示するアイコンを押して枚数を選択したら、「OK」のアイコンを押すことにより次の画面に移行する。この操作が上記の枚数の選択に該当する。なお、枚数を変更したい場合には、「キャンセル」を押せばよい。また、「メニューに戻る」を押すことにより図4に示すメニュー画面に戻ることもできる。

【0017】次に、図7の画面において「OK」が選択されたら、図8に示すような画面が表示される。この画面においては、主にそれまでに選択した内容が一括して表示される。つまり、各選択を行うことにより特定された注文内容が表示される。すなわち、選択された各候補の情報が一旦メモリに格納され、図8に示す画面に表示される。ここで、「商品番号」は図6で選択したパターンに対応するもので、「枚数」は図7の画面で選択した内容である。また、「指定書体」は操作者が特別に書体を指定したい場合に選択する。また、「何行ですか」のアイコンは、作成する名刺の行数を選択する。例えば、名前が1行、住所が2行、電話番号が2行の場合には、計5行となるので、「5行以下」を選択する。ここで、行数を選択させるのは、行数により価格が変動するからである。指定書体についても同様である。つまり、図8に表示された「商品番号」、「枚数」、「指定書体」、「何行ですか」の各内容に応じて価格を計算して右上の料金表示欄に表示する。これにより、操作者は、料金がいくらになるのかを知ることができる。そして、図8の画面で表示された内容でよければ、下欄の「OK」を選択する。「キャンセル」を押せば「指定書体」、「何行ですか」の欄を設定し直すことができる。

【0018】上記図8の画面で「OK」のアイコンを選択した場合には、図9に示すような注文書がプリント出力される。この注文書には、名刺の注文書であることが分かるように、上欄に「名刺注文書」と印字され、その下の選択事項表示欄には、それまでの操作で選択された内容が表示される。つまり、「品番」、「枚数」、「指定書体」、「行数」について選択した内容が表示される。例えば、図8に示す例の場合には、「品番」には「3」と表示され、「枚数」には「10」の表示され、「指定書体」には「なし」と表示され、「行数」には「5」と表示される。この選択事項表示欄は、商品の種類により内容が異なる。また、「原稿内容」の部分には、操作者（購入者）が、実際にプリントしてほしい内容を手書きで記入する。つまり、名刺の場合には、住所、名前、電話番号等を記入する。さらに、下側の「お客様ご記入欄」に所定の事項を記入する。

【0019】操作者（購入者）が記入を完了したら、操作者はその注文書を所定の受付カウンターに提出する。すると、この注文書は、この受付カウンターから製造販売元にFAXや郵送等で送られ、製造販売元はその注文書を見て商品を準備する。そして、商品ができあがったら、上記操作者（購入者）に渡すのである。なお、上記の例では、パターンを選択してから枚数を選択するものとしたが、逆の順序でもよく、選択対象の順序は任意でよい。また、上記の選択対象の他に例えば縦書きか横書きかを選択できるようにしてもよい。

【0020】次に、図4のメニュー画面において、「印鑑」を選択した場合について説明する。その場合には、図10のフローチャートに示すように処理を行う。つまり、まず、印鑑の種類の選択を行う（S20）。つまり、「認印」、「銀行印」、「実印」、「会社印」がそれぞれ各印の説明とともに画面に表示される。例えば、「認印」については、「日常用の略式の印章である」旨が、また、「実印」は、「1人1個に限って市区町村の役所に登録しておき、重要書類に押す印である」旨が表示される。つまり、用途に応じてどの印鑑を選ばよいかを分かりやすく説明する。すなわち、この場合には、選択対象は、用途に応じた種類に基づいて設けられている。これらの説明は、上記販売対象物の内容を説明するための情報に当たる。なお、選択は上記と同様に所定のアイコンを押すことにより行う。

【0021】そして、種類の選択が完了したら、素材を選択する（S21）。つまり、木製、樹脂製等の別を選択する。その際、各素材を使用した場合の写真データを表示して、実際の外観がどのようなものであるのかを分かるようにする。つまり、写真データ格納部34から所定のデータを読み出して表示する。そして、次に、印鑑のサイズを選択する（S22）。この場合にも、あるサイズにした場合には、どの程度の大きさの印影となるかを実物大で表示する。そして、書体の選択を行う（S23）。この場合にも、ある書体を選択したらどのような書体となるかの例を表示する。この場合の書体は、上記「販売対象物の表示内容のパターン」に相当する。

【0022】そして、選択が一通り完了したら、注文内容を一括して表示するとともに料金の情報も表示して、操作者に確認させ、操作者が注文内容を了解する旨の操作を行った場合には（S24）、注文書を印刷する（S25）。注文書のプリントが完了したら、操作者（購入者）が、原稿内容の部分に印影の内容を手書きで書き込む。つまり、例えば、「田中」の印影を希望する場合には、この原稿内容の箇所に「田中」と手書きで書き込む。さらに、下側の「お客様ご記入欄」に所定の事項を記入する。操作者（購入者）が記入を完了したら、操作者はその注文書を所定の受付カウンターに提出する。その後の処理は、上記名刺の場合と同様である。

【0023】なお、上記印鑑の場合の動作において、

(5)

「認印」、「銀行印」等の種類の選択を行ったら、予算を選択して予算の範囲内で素材やサイズを選択を行うことができるようにしてもよい。この場合には、予算（価格）は選択対象の1つとなる。また、各選択対象の順序は上記に限られず任意でよい。

【0024】また、カッティング文字（図4参照）に関しては、同じように、サイズ、書体、文字色、枚数等を選択して注文の操作を行う。このカッティング文字とは、紙材やシールを所定の文字の大きさに切り抜いたものである。

【0025】なお、上記の説明では、注文内容を図9に示すような注文書にプリントして出力するものとして説明したが、例えば、注文内容のデータを電話回線を介して製造販売元に直接送信するようにしてもよい。また、上記の説明では、選択対象としては、種類、パターン、枚数、価格、書体、色等を例に取って説明したが、これには限られず、他の選択対象であってもよい。

【0026】また、上記の説明では、実際に商品に表現すべき事項（例えば、名刺の場合には、住所や名前等、印鑑の場合には、名字）を注文書（図9）の原稿内容の欄に注文者が記入するが、これをボタン操作で入力できるようにしてもよい。また、入力操作を行うためにタッチパネルを設けるものとして説明したが、他のデジタイザでもよく、さらに、デジタイザ以外のキーボード等の他の入力装置であってもよい。

【0027】また、上記の説明においては、メニュー画面に表示された商品が、印鑑、名刺等のように少なくとも文字、記号、図形のいずれかの表示内容を構成要素に含むものであるとして説明したが、これには限られず、他の商品であってもよい。また、上記の説明においては、所定の選択を行う場合には、タッチパネルを操作することにより行うものとして説明したが、例えば、音声により入力するようにしてもよい。

【0028】

【発明の効果】本発明に基づく注文内容出力装置によれ

ば、注文者（操作者）は、各選択対象につき所定の候補を選択していくことにより注文内容出力することができる。特に、注文内容をプリントする場合には、注文内容を表示した注文書の形で出力することができる。また、選択対象を出力する際に、上記販売対象物の内容を説明するための情報を出力する場合には、販売対象物の内容を説明するための者がいなくても、注文者はその内容を知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例に基づく注文書発行装置の外観を示す斜視図である。

【図2】本発明の実施例に基づく注文書発行装置の構成を示すブロック図である。

【図3】名刺選択時の動作を示すフローチャートである。

【図4】表示画面としてのメニュー画面を示す説明図である。

【図5】表示画面の例を示す説明図である。

【図6】表示画面の例を示す説明図である。

【図7】表示画面の例を示す説明図である。

【図8】表示画面の例を示す説明図である。

【図9】注文書の例を示す説明図である。

【図10】印鑑選択時の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

A 注文書発行装置

10 装置本体

20 タッチパネル付きLCD

22 タッチパネル

24 LCD

30 メモリ

32 動作制御プログラム格納部

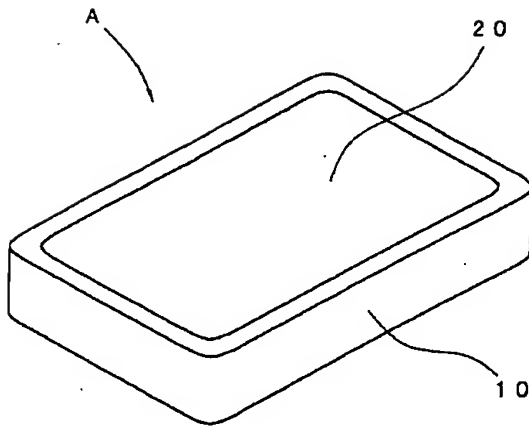
34 写真データ格納部

40 プリンタ

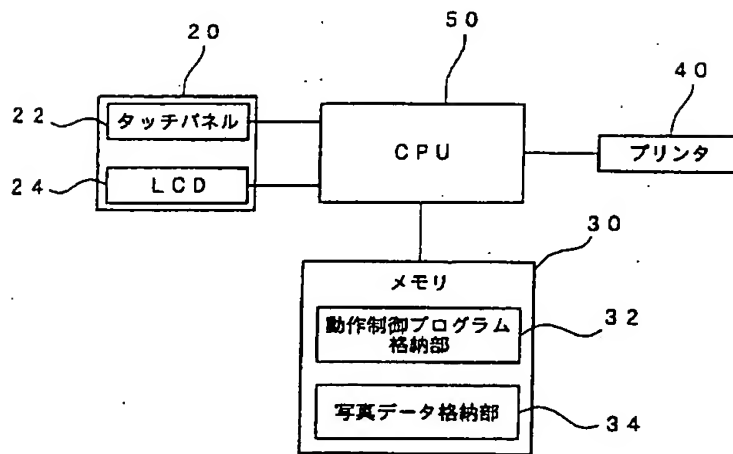
50 CPU

(6)

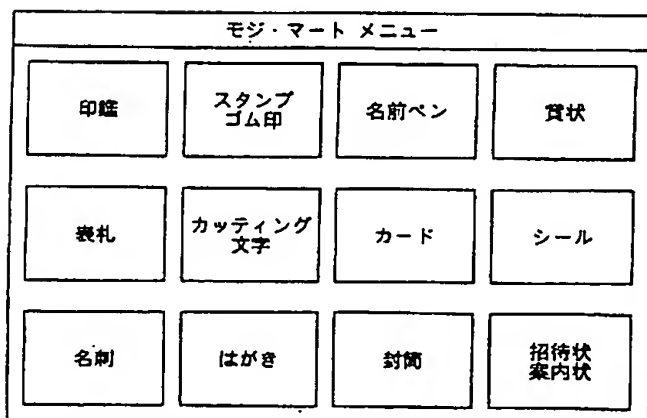
【図1】



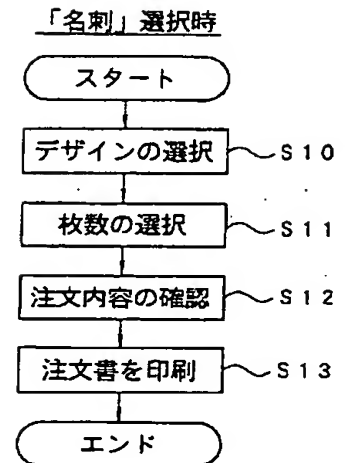
【図2】



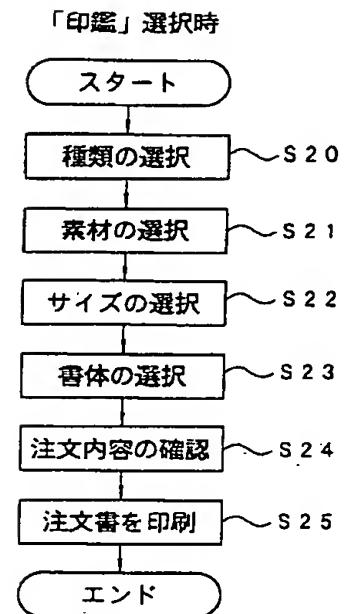
【図4】



【図3】



【図10】



(7)

【図5】

名刺

価格はデザインにより異なります
(タイプごとに価格が違います)

価格表

をご覧ください
裏面への印刷はできません

サンプル画面

メニューに戻る

【図6】

名刺のパターン

○△株式会社
日本太郎
〒100-0000
東京都中央区〇〇〇
TEL:03-XXXX-XXXX

〇〇株式会社
日本太郎
〒100-0000
東京都中央区〇〇〇
TEL:03-XXXX-XXXX

〇〇株式会社
日本太郎
〒100-0000
東京都中央区〇〇〇
TEL:03-XXXX-XXXX

〇〇株式会社
日本太郎
〒100-0000
東京都中央区〇〇〇
TEL:03-XXXX-XXXX

〇〇(株)
日本太郎
〒100-0000
東京都中央区〇〇〇
TEL:03-XXXX-XXXX

価格表 前ページ 次ページ メニューに戻る

【図7】

名刺の枚数

〇〇株式会社
日本太郎
〒100-0000
東京都中央区〇〇〇
TEL:03-XXXX-XXXX

枚数ボタンを押して下さい
 枚

10枚 4000	130枚 12400
20枚 4600	200枚 15400
30枚 5200	280枚 18400
40枚 5800	300枚 21400
50枚 6400	350枚 24400
60枚 7000	400枚 27400
70枚 7600	450枚 30400
80枚 8200	500枚 33400
90枚 8800	550枚 36400
100枚 9400	600枚 39400

OK
キャンセル
メニューに戻る

(8)

【図8】

ご注文の確認			
商品番号	<input type="text" value="3"/>	金額	<input type="text" value="¥4,000"/>
枚数	<input type="text" value="10"/>		
指定書体	<input type="text" value="カ"/>	<input type="button" value="指定アリ"/>	<input type="button" value="指定ナシ"/>
何行ですか？	<input type="text" value="5"/>	<input type="button" value="5行以下"/>	<input type="button" value="6行"/>
		<input type="button" value="7行"/>	<input type="button" value="8行"/>
		<input type="button" value="9行"/>	
以上の内容で宜しいですか？		<input type="button" value="OK"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>
<input type="button" value="メニューに戻る"/>			

【図9】

名刺注文書			
品番	<input type="text"/>	枚数	<input type="text"/>
指定書体	<input type="text"/>	行数	<input type="text"/>
<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>			
取柄内容	お名前		様
	お客コード		
	〒 <input type="text"/>		
	TEL <input type="text"/>		
お客様ご記入欄	ご住所		
	TEL		
	TEL		
	TEL		
----- 切り取り線 -----			
お客様控え 大切に保管してご来店の際にご提示下さい			
お客様番号		<input type="text"/>	
商品名		<input type="text"/>	
出来上予定日		<input type="text"/>	